

手話体験講座が開かれました～地域個人登録の会～

「拍手」の手話をみんなで練習

松江第四中学校保健委員会



7月15日、松江第四中学校の保健委員会(1～3年生、教員を含む35名)で、聴覚障がい者理解と手話体験の出前講座が開催されました。

担当したのは「地域個人登録の会(代表:大森さん)」(聴覚障がい者と交流するボランティア団体)です。聴覚障がい者の安田さんから手話で、聴覚障がい者で日常的に困ることや、手話とそれ以外の様々なコミュニケーション方法などや、手話通訳のボランティアを通して生徒たちに伝えられました。

その後、手話によるあいさつ、拍手、校名の「松江第四中学校」の練習をしました。

生徒たちから、「耳が聞こえない方がどのように生活しているのかわかりました。」「手話以外にも、

いろいろ伝える方法があることを知りました。」「機会があったら、手話を使ってみたいです。」との感想が寄せられました。

ボランティアによる 夏休み親子手話教室

8月4日、臨海町コミュニティ会館で開催された手話教室に、4組の親子10名が参加しました。この教室は、マンガ「聲の形(こえのかたち)」を読んで手話に興味をもった小学生のよびかけで開催されたものです。

地域個人登録の会の会員で聴覚障がい者の久住呂(くじゅうろ)さんが、全員の氏名やあいさつなどの手話を教えてくれました。

親子で受講できたので、家に帰ってからも復習できますね!



←
「8月4日」の
手話を練習

左手が8、
右手が4を
表しています

SDGsについて理解を深めました ～江戸川区福祉ボランティア団体協議会～

江戸川区は令和3年度の「SDGs未来都市」に選定されました。福祉ボランティア団体協議会ではSDGsの理解を深めるため、区SDGs推進センターに講演を依頼しました。

7月27日、14名の会員に対して「SDGsとは?」に始まり、なぜ江戸川区がSDGsを推進するのかを、分かりやすく講演していただきました。

自分のボランティア活動が既にSDGsのどのゴールにあたるのかを意識し、身近なところから取り組んでいくことを学びました。

参加したみなさんは、自分たちのボランティア活動がSDGsとどう結びつくかを再認識しました。



SDGs17のアイコンを説明していただきました

2021えどがわ ボランティアフェスティバル 中止のお知らせ

12月5日(日)にタワーホール船堀で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止させていただくことになりました。

開催を楽しみにされていた方や、フェスティバルへの参加を検討されていた方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

● このページのお問い合わせ先 ●

(公財)えどがわボランティアセンター
Tel.03-5662-7671